

都市再生整備計画事業 事後評価シート


射水市 新湊地区(二期)

平成26年3月

富山県射水市

都道府県名	富山県	市町村名	射水市	地区名	新湊地区	面積	451ha						
交付期間	平成21年度～平成25年度	事後評価実施時期	平成25年度	交付対象事業費	423.6 国費率	0.4							
1)事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業	基幹事業	事業名 市道新湊2号線、市道新湊20号線、市道新湊280号線、市道庄西28号線、市道堀岡79号線、市道中央町八幡町三丁目線、市道新湊298号線、市道新湊241号線、市道新湊132号線、新湊大橋西側連絡道路、市道中央町緑町線、道新湊198号線、八幡公園、六渡寺駅周辺整備、ライトアップ(東橋、神楽橋、山王橋)、ライトアップ(新湊大橋)										
		提案事業	レンタサイクル事業、内川寄席事業、曳山格納庫整備事業、モニターツアー事業、曳山囃子競演会事業、獅子舞競演会事業、曳山枝敷席設置事業、朝市・夕市開催事業、観光案内所開設事業、事後効果分析調査										
		事業名	削除/追加の理由		削除/追加による目標、指標、数値目標への影響								
	当初計画から削除した事業	基幹事業	市道新湊280号線、新湊大橋西側連絡道路、ライトアップ(東橋、神楽橋、山王橋、新湊大橋)、荒間公園、市道堀岡79号線、市道新湊241号線、六渡寺駅周辺整備	別事業での整備、提案事業への移行 用地買収の難航、事業の難航		影響なし							
		提案事業	内川寄席事業、モニターツアー事業、曳山囃子競演会事業、獅子舞競演会事業、曳山枝敷席設置事業、朝市・夕市開催事業、観光案内所開設事業	別事業での整備		影響なし							
	新たに追加した事業	基幹事業	市道新湊249号線、新湊中部公園、三日曾根公園	・老朽化対策 ・地域住民および観光客の交流拠点の創出		影響なし							
		提案事業	新湊大橋西側連絡道路整備	基幹事業(道路)からの移行		影響なし							
	交付期間の変更	当初	平成21年度～平成25年度	交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響		-							
		変更	変更なし										
	2)都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指 標		従前値	目標値		数 値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期	
		単位	基準年度	目標年度	モニタリング	評価値							
指標1		移住交流促進人口	人/年	974	H19	1,000	H25	1,143	○	あり	●	内川に架かる橋や周辺道路整備、橋のライトアップ事業などを実施したことにより、周辺観光施設との利便性が向上したことや、内川周辺を中心とした観光モデルコースをPRしたことにより、目標値を達成した。	平成26年5月頃
指標2		内川観光船の乗客数	人/年	8,976	H19	9,200	H25	18,569	○	あり	●	臨港道路富山新港東西線事業(新湊大橋の開通)やそれに伴うイベント開催によって、海王丸パークの利用者数が増加したため、海王丸パークを発着点とする観光船の乗客数も増加した。	平成26年5月頃
指標3		内川遊歩道の歩行者数	人/12h	228	H20	235	H25	245	○	あり	-	内川周辺やまちなかでの歩行回遊性を高めるために、道路や公園の整備、橋梁のライトアップなどを行った結果、内川の魅力が向上し、地元住民や観光客の歩行者数が増加した。	-
3)その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指 標		従前値	目標値		数 値		目標達成度※1	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期		
		単位	基準年度	目標年度	モニタリング	評価値							
その他の数値指標1	海王丸パークの入込客数	人/年	798,400	H20			1,030,300				臨港道路富山新港東西線事業(新湊大橋の開通)やそれに伴うイベント開催によって、海王丸パークに多数の観光客が訪れるようになった。	平成26年5月頃	
4)定性的な効果発現状況	・内川沿川で、ギャラリーカフェ「Do・U・Zo」に続き、空き家を活用したアンティークショップ「我楽堂 内川店」(平成23年)、カフェ「uchikawa六角堂」(平成24年)がオープンしたことで、魅力が向上した。 ・海王丸パーク付近で、平成23年に水産物直売の複合施設「きとときと市場」、レストラン「フェリシーナ」がオープンし、多くの観光客に利用されている。 ・東橋からの内川の眺望が、富山県のふるさと眺望点に認定された。(平成22年4月) ・海王丸パークが、NPO法人地域活性化支援センターの選定する「恋人の聖地」に選定された。(平成25年)												
5)実施過程の評価			実施内容				実施状況		今後の対応方針等				
	モニタリング	なし。					都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった		-				
	住民参加プロセス	事業個所の周辺自治会へ計画時の協議及び説明会等の実施					都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった		● 今後も引き続き実施し、地元意見等を反映させたまちづくりを進める。				
	持続的なまちづくり体制の構築	新湊みなとまちづくり戦略会議 放生津地区防災まちづくり検討会					都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった		● 新湊みなとまちづくり戦略会議・放生津地区防災まちづくり検討会それぞれの維持・継続に注力する。				

様式2-2 地区の概要

新湊地区（二期計画）（富山県射水市）都市再生整備計画事業の成果概要									
まちづくりの目標		目標を定量化する指標		従前値		目標値		評価値	
大目標：内川を中心とするまちなかの魅力向上による、多様な交流機会と安心・安全な暮らしの創造		移住交流促進人口	単位：人/年	974	H19	1,000	H25	1,143	H25
目標1 地域資源の有効活用によるまちなかの魅力向上により、観光客のまちなかへの誘導を図る。		内川観光船の乗客数	単位：人/年	8,976	H19	9,200	H25	18,569	H25
目標2 内川周辺や海王丸パークなどにおいて、地区住民が安らぎ憩える空間を整備し、観光客にとっても快適な歩行空間の創出を図る。		内川遊歩道の歩行者数	単位：人/12h	228	H20	235	H25	245	H25
目標3 既存のインフラ整備や改良を行うことにより、地区住民の安心で安全な暮らしの向上を図る。		海王丸パークの入込客数	単位：人/年	798,400	H20	—	—	1,030,300	H25
		-	-	-	-	-	-	-	-
<div><div><div>[道路]市道新湊20号線【桜橋】</div></div><div><div>[道路]市道新湊132号線</div></div><div><div>[道路]市道新湊198号線</div></div></div> <div><div><div>道路 市道新湊132号線</div><div>道路 市道新湊2号線</div><div>道路 市道新湊20号線</div><div>道路 市道庄西28号線</div><div>道路 市道新湊198号線</div><div>道路 市道中央町緑町線</div><div>道路 市道中央町八幡町三丁目線</div><div>道路 市道新湊249号線</div><div>道路 市道新湊298号線</div><div>公園 八幡公園</div><div>公園 新湊中部公園</div><div>公園 三日宮根公園</div><div>公園 荒間公園整備事業</div><div>内川交通ネットワーク事業</div><div>射水市放生津地区重点密集市街地防災まちづくり事業</div><div>新湊大橋ライトアップ事業</div><div>臨港道路富山新港東西線事業</div><div>射水市海竜町第二期土地区画整理事業</div><div>地域創造支援事業 新湊大橋西側連絡道路整備事業</div><div>内川橋梁ライトアップおよび橋梁照明省エネ対策事業</div><div>内川～海王丸パーク</div><div>地域創造支援事業 曳山格納庫整備事業</div><div>地域創造支援事業 レンタサイクル事業</div><div>事業活用調査 事後効果分析調査</div></div><div><div>凡 例</div><div>■ 基幹事業</div><div>■ 提案事業</div><div>--- 関連事業</div></div></div>		<div><div>[提案]レンタサイクル事業</div></div> <div><div>新湊大橋西側連絡道路整備事業</div></div> <div><div>[道路]市道新湊2号線【茂八橋】</div></div> <div><div>[公園]八幡公園</div></div> <div><div>[関連]新湊大橋ライトアップ事業</div></div> <div><div>[道路]市道中央町緑町線</div></div>							
まちの課題の変化		<ul style="list-style-type: none">・地区内の道路や公園を整備することにより、地区住民の憩いの場が創出されたが、人口減少に伴い市街地において空き地や空き家が多くみられる。・まちなかの道路整備や内川橋梁のライトアップなど景観に配慮した施設整備を通して、住民に対して景観づくりへの意識の高揚を図ることが必要である。・内川周辺でゆっくりと滞在できる回遊ルートが形成された一方、移動自体が魅力的となるような遊覧船の運航や、川の駅などの乗船場の利便性を向上するなど、今後も観光客をまちなかへ誘導するような仕掛け作りが必要である。・密集市街地で、道路側溝整備により、緊急時の避難機能、アクセス性が強化された。今後、自主防災組織を活用し、整備された道路を避難路として通行することで、指定された避難施設へ住民が早急に避難できるよう周知することが必要である。							
今後のまちづくりの方策（改善策を含む）		<ul style="list-style-type: none">・新湊大橋の歩行者用通路が開通したことで、海王丸パークを含むベイエリアと内川周辺を連携して情報発信を行い、まちなかへ観光客を誘導させる。・内川観光の新たな拠点である川の駅新湊において、地域住民や観光客が集まる場として、イベント展開を図り、拠点性を向上させる。・老朽化した家屋が密集している密集市街地においては、重点密集市街地整備事業に取り組むことにより、地区住民の安心で安全な暮らしの向上を図る。・空き家を有効活用したカフェ、ギャラリーなど、チャレンジショップとしての活用方法や支援方法についての検討や、既存の移住交流滞在施設の活用を図ることで、交流人口を増加させ地域を活性化させる。・海王丸パーク・新湊大橋を訪れた人を内川周辺へ誘導するため、内川周辺のPRを行い、両地区を合わせたイベント展開を図る。・地区住民の誰もが安心して暮らせるために、水害や地震など災害に強いまちづくりを推進する。							